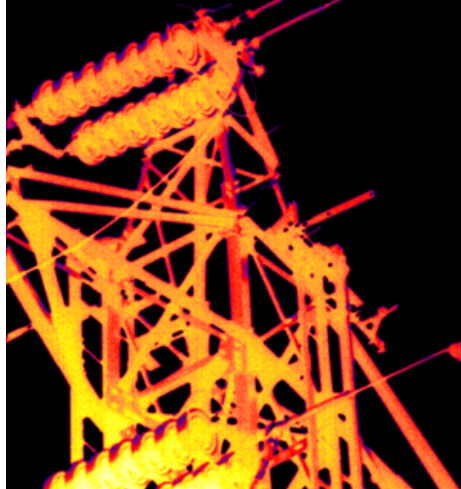
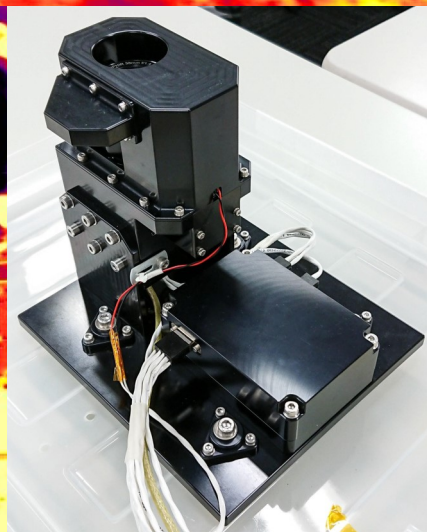
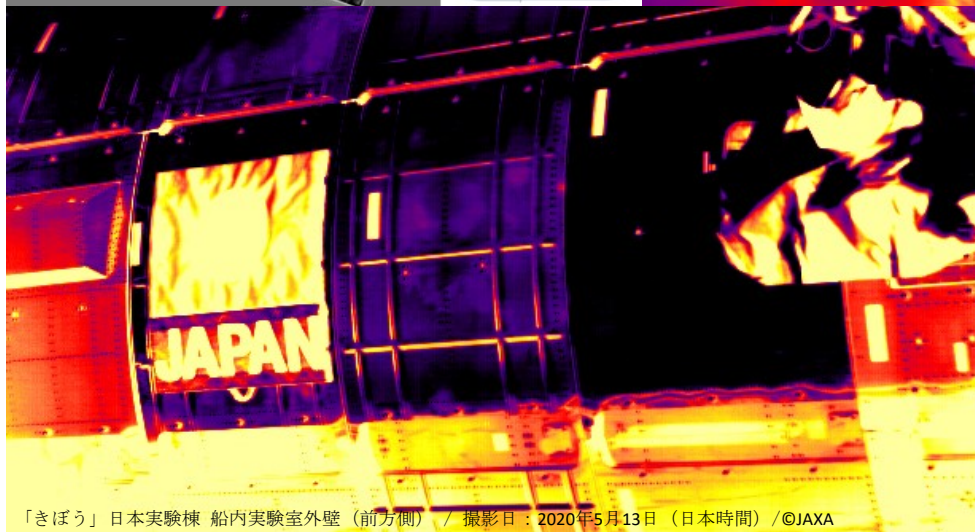
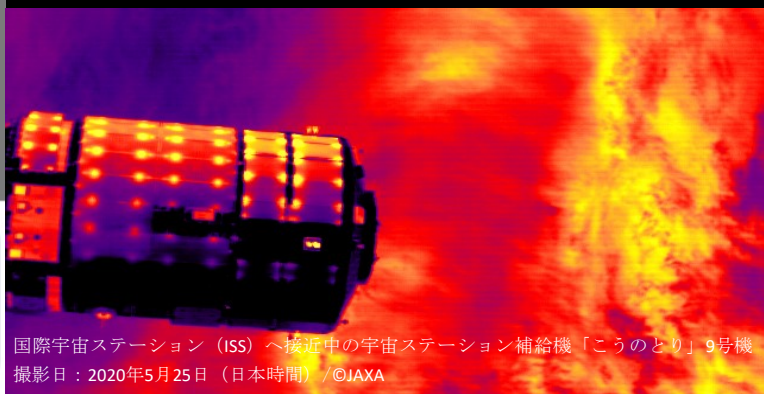
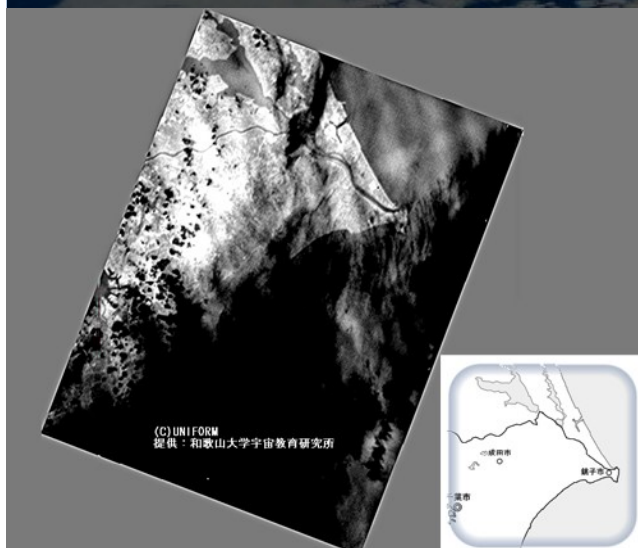


— 地上から



株式会社ビジョンセンシング

宇宙へ —



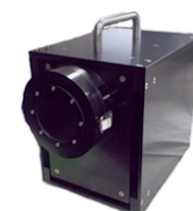
会社案内

商号	株式会社ビジョンセンシング Vision Sensing Co.,Ltd.
本社所在地	〒530-0036 大阪市北区与力町1番5号 与力町パークビル5F TEL:06-4800-0151 FAX:06-4800-0152
東京営業所	〒141-0031 東京都品川区西五反田7丁目13番5号 DK五反田ビル4F
設立	2008年12月16日
資本金	3,300万円
役員	代表取締役社長 水戸 康生
社員数	25名（内派遣社員1名含む）
事業内容	赤外線カメラ開発・設計・製造・販売 画像処理システムの開発・設計・製造・販売 アルゴリズム開発・設計
主要取引先	一部上場企業・各種国立研究所・各種大学
Home Page	www.vision-sensing.jp

画像(Vision)の計測・検知(Sensing)から将来の展望(Vision)を見通す力(Sensing)に

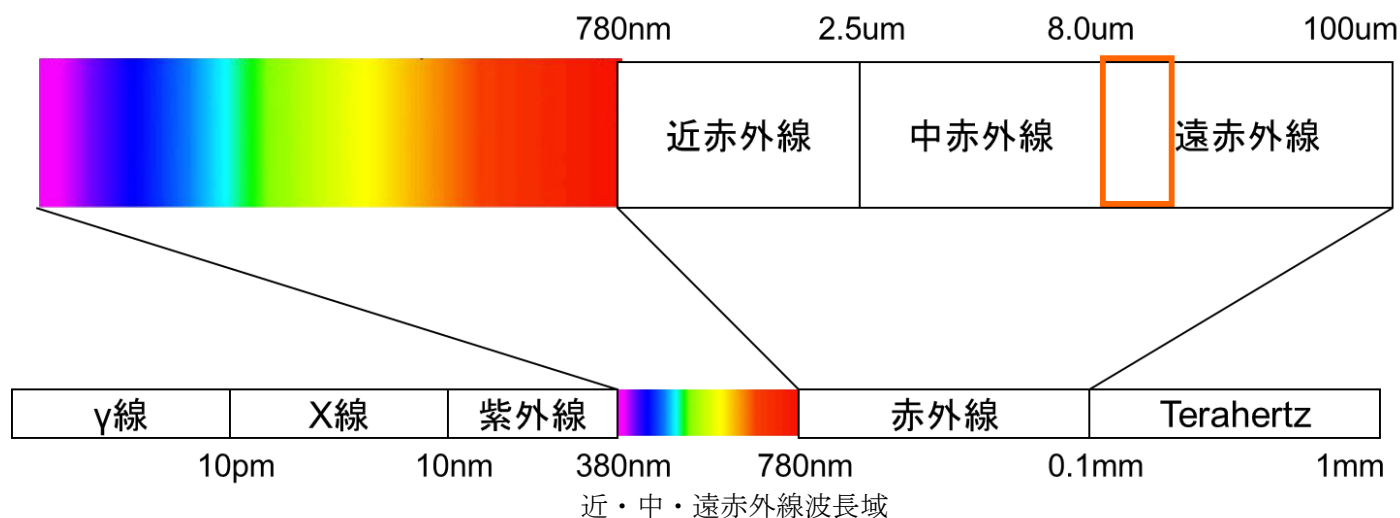
会社沿革

- 2008年12月 創業（大阪市浪速区にて）
- 2009年04月 大阪市北区与力町（現住所）に移転
- 2009年01月 遠赤外線カメラ試作機完成
- 2009年09月 シャッターレス遠赤外線カメラ販売開始(ULVIPS-02,ULVIPS-03)
- 2010年05月 VGAシャッターレス遠赤外線カメラ販売開始(ULVIPS-04)
- 2011年03月 XGAシャッターレス遠赤外線カメラ販売開始(ULVIPS-05)
- 2011年06月 中赤外線カメラ販売開始(ULVIPS-03131)
- 2011年11月 低価格遠赤外線カメラULVIPS-03Liteの販売開始
- 2012年05月 中赤外線カメラULVIPS-PICO640Eの販売開始
- 2013年06月 近赤外線カメラNIRCam-640の販売開始
- 2014年01月 車載搭載向けULVIPS-PICO384A試作発表
- 2014年03月 サーモパイル型遠赤外線カメラLCC2000販売開始
- 2015年04月 近赤外線ラインカメラNIRCam-2048の販売開始
- 2015年05月 UNIFORM衛星搭載遠赤外線カメラ打ち上げ成功・運用開始
- 2015年09月 T2SL近赤外線カメラNIRCam-320EXの販売開始
- 2016年04月 高感度近赤外線カメラNIR640CDの販売開始
- 2016年12月 低価格遠赤外線カメラVIMシリーズの販売開始
- 2018年06月 冷却型中赤外線カメラMIRCam-640CLの販売開始
- 2018年08月 低価格近赤外線カメラNIRCam-640SNの販売開始
- 2019年06月 冷却型分光カメラHSC-320の販売開始
- 2020年03月 冷却型T2SL遠赤外線カメラLIRCam-640の販売開始
- 2020年05月 国際宇宙ステーション「きぼう」日本実験棟ロボットアーム搭載
遠赤外線カメラの運用成功
- 2020年06月 体表面温度測定カメラ フィーバーキャッチャー2の販売開始
- 2021年08月 SXGA冷却型中赤外線カメラMIRCam-1280CLの販売開始
- 2021年09月 高感度遠赤外線カメラVIM-640SG2販売開始
- 2021年10月 低価格遠赤外線カメラVIM-640AT販売開始
- 2021年12月 遠赤外線カメラ用キャリブレーションTool販売開始予定
- 2022年01月 品質マネジメントシステム「ISO9001:2015」認証取得
- 2022年04月 日本防衛装備工業会 入会
- 2022年05月 富士総合火力演習 機材提供
- 2022年09月 ラインナップ型式変更

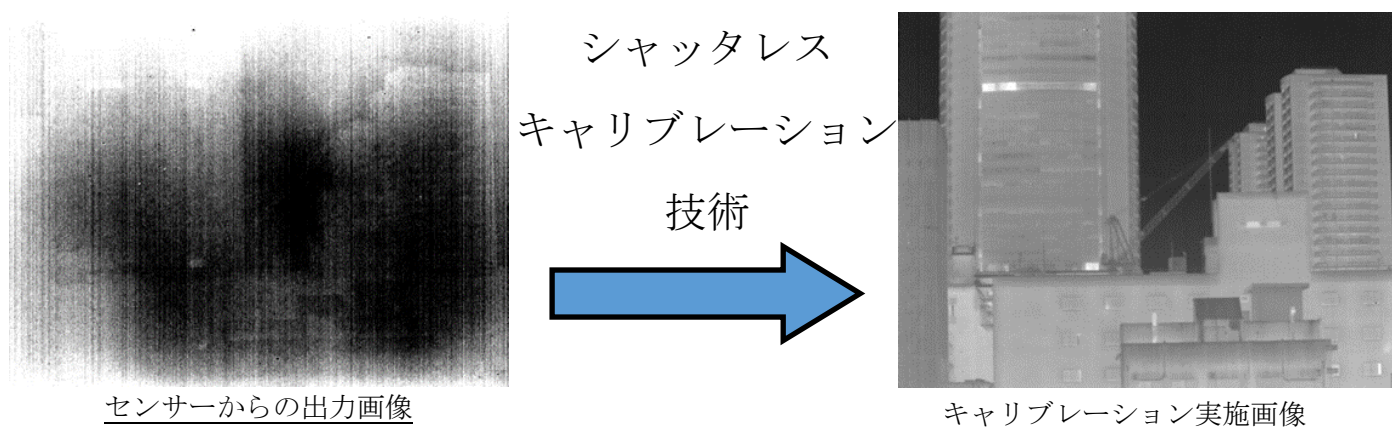
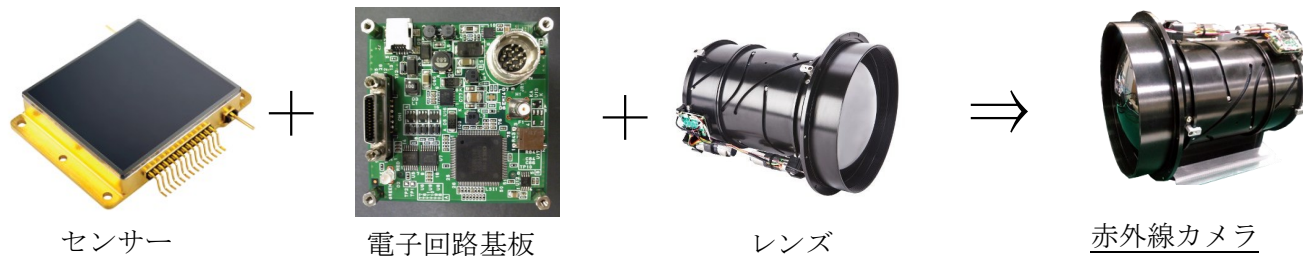


弊社の強み

2008年から赤外線カメラの開発を開始し、現在に至ります。弊社の強みは、赤外線のすべての波長帯域（近赤外線・中赤外線・遠赤外線）に対応したカメラを自社で開発していることです。センサーが手に入ればお客様の要望を踏まえたカメラを開発・設計・製造することができます。



赤外線センサーは、画素間バラツキや温度による輝度の変化が生じます。また、望遠のZoomレンズでは、ナルシサスによる輪っかが画像に映り込みます。そのため、単純にセンサーとレンズを取り付けただけでは、カメラ化することが難しいのです。弊社のシャッターレスキャリブレーション技術は、赤外線カメラのさまざまな問題を解決し、品質の高いカメラをお客様に提供しています。



センサーは、Lynred(フランス)、SCD(イスラエル)、住友電工(日本)製で、米国製を使用していないためITARに関係なく日本の様々なアプリケーションや原子力関係アプリケーションに使用可能です。また、センサーの輸入は、日本に対して許認可が緩いため短い期間で輸入が可能です。国内で使用する限りは、仕様用途の制限が殆どないためすべてのアプリケーションに対応可能です。